



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷1F
編集：全難聴事務局
電話：03(3225)5600
FAX：03(3354)0046
URL：<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennacho@zennancho.or.jp

障害者差別解消法関連特集

4月26日に国会に提出された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）は、国連障害者権利条約批准に向けての制度改革の中の重要なステップです。この5月は成立へ向けて活動が各方面で行なわれ、全難聴もその一翼を担っています。

↑ JDF 主催緊急院内集会（5月14日）

障害者差別禁止法が「障害者差別解消法」という形で実を結ぶかどうかという状況で、6月26日の国会会期末までの採決をめざし、障害当事者、関係者の声を国会議員に届けるために、緊急の院内集会が開かれました。

参議院議員会館講堂に、当事者、関連議員、関係者を含め約260人が参集しました。

JDFの小川代表の挨拶に続き、厚労省審議官、推進会議の東室長らの法案に関する意見が述べられ、その後大谷弁護士、太田修平さんらによるパネルディスカッションが、藤井議長のコーディネートのもと行なわれました。



折しも衆議院本会議の真っ最中のため、各議員は集会に通して参加することは難しい状況でしたが、昼休み及び休憩中に10名の国会議員、6名の議員秘書の方々が挨拶に来られました。

皆さん道路を挟んだ議事堂より駆け足で参加され、ご挨拶を終えるとまた駆け足で議会に戻るといった状況で、その中でも会場に集った30台以

上の車椅子の参加者を含む当事者の熱気に圧倒されている様子でした。

全難聴から本集会には新谷副理事長と、東京都協会の事務局長が参加しました。



📌 四団体勉強会（5月16日）

全日ろう連、盲人連合、盲ろう協会、そして全難聴の四団体による勉強会が盲人連合センターで開かれました。

東大先端技術研の福島智教授による開催挨拶に続き、高岡理事長による「情報コミュニケーション法の骨格に関する提言について」から勉強会は始まりました。

後半は日盲連竹下会長による、「障害者差別解消法をどう受け止めるか」という講義でした。

差別解消法は、タイムリーな話題なため、参加者の関心が高い議題でした。

わが国初の全盲の弁護士である竹下会長による専門家としての解説に対し、福島教授の鋭い質問が飛び、息を呑む質疑応答が繰り広げられました。



憲法11条から14条、25条などから捉える障害者基本法、差別解消法それぞれの位置づけなど議論は多岐に及び、教授、弁護士という活動分野を越えて、運動家としての条文の理解に関する説明が行われました。

「出来の悪い子ほど育て甲斐がある。」差別解消法についての竹下会長の感想です。
「弁護士や運動家にとってはなくてはならない武器になる」本法案は、成立後3年間にわたり、方向性などの修正議論がなされます。

■ 差別解消法、内閣府ヒアリング・法案審査

5月24日、障害者差別解消法案民主党合同（内閣・厚生労働・文部科学部門）会議があり、JDFの一員として出席しました。

政府よりは、内閣府の山崎政策統括官、東室長などが出席。

民主党中根議員司会で、法案審議が行われました。民主党の松本議員より、会期末まで5週間、超党派で法案の成立を図りたい旨発言があり、出席議員よりの質疑の後、法案への民主党対応は松本議員への一任となりました。質疑は、救済措置に議論が集まりました。

ガイドラインを充実させ実効性を高める方向と同時に、差別解消支援地域協議会の活用、主務大臣による報告の徴収・指導・勧告の機能強化など発言がありました。

法案は参議院で先議、5月中に法案を可決して衆議院に送るのがギリギリの日程で、何かハプニングがあれば廃案の可能性のある緊迫した状況です。（新谷）

（29日に衆院内閣委員会で可決→衆議院本会議→参院送付→6月前半審議・成立へ：事務局註）

第7回 九州ブロック難聴者福祉大会 in 福岡市開催(5月18日、19日)

大分県難聴者協会事務局長 小倉 鉄郎

かつて福岡城の大堀があった大濠公園からほど近い、福岡市市民福祉プラザで開催されました。九州内に11ある協会から約100名の参加者が集まりました。

一日目は式典、記念講演、九州ブロック協議会総会とあり、同日の夜は市内のホテルへ移動して交流会が開かれました。

記念講演は、社会福祉士の明石二郎様が、「言葉の力～人を支え、あなたも変わる～」を演題に、言葉が人間に与える影響についてお話しくださいました。

九州ブロック協議会総会では、寒川佳恵子さんを議長に議事が進行され、すべて承認されました。また、次回の第8回大会に佐賀県が開催地として決定しました。

25年度、九州ブロックでは、第19回全国難聴者福祉大会 in 沖縄と、第31回全国要約筆記問題研究集会 in くるめ(九州)があり、**沖縄の根間会長**と全要研の河野実行委員長から大会PRがありました。どちらの大会も九州一丸となって盛り上げていこうと、会場の全員が気持ちを新たにするものでした。

二日目は、意見交換会があり、事前に各協会から集めたアンケートを元に、各協会の活動が紹介されました。どこの協会も入会促進に苦慮されており、他県の事例紹介には熱心に耳を傾け、質疑応答もありました。

午後の観光は、二階建てオープントップバス(屋根がない)で、福岡市内の観光地巡りでした。晴天であれば、二階建てのバスから見下ろす景色は素晴らしいものだったのですが、この日はあいにくのお天気です。

都市高速を疾走するバスでは、バスガイドさんも自分の顔を押しさえるほどの雨と風。

それでも、雨風に目を押しさえながら必死にガイドの案内を伝えようとする要約筆記者。バスを降りると、みんな化粧が半分落ちた顔でカラッと笑いあっていました。福岡の要約筆記者は技術も高く、ハートも熱い。とても立派です。

話はそれますが、今年の2月に鹿児島島の樗木久美子様がお亡くなりになりました。お元気なころは鹿児島協会の事務局長として、難聴者のために尽力されました。まだ、右も左も分からない頃に、樗木さんに道を指し示され、導いていただいた方たち数名が今日の日にもお見えでした。

絆は、目に見えなくとも確実に引き継がれているということを実感させられるものでした。

九州は、まだまだ熱いです。今年は、ぜひ九州にいらしてください。



📌 理事の動き (5月1日～5月30日)

- 5月2日 JDF 国際委員会 (新谷)
- 5月7日 全社協障害者関連団体連絡協議会 (新谷)
- 5月10日 日本財団 石井靖乃氏と面談 (川井)
- 5月13日 監査 (田代)
- 5月13日 議員周り (翌日の参加依頼) (新谷)
- 5月14日 緊急院内集会 (新谷)
- 5月15日 障害者放送協議会総会 (高岡、小川)
- 5月16日 四団体勉強会 (高岡)
- 5月17日 MASC 第3回理事会 (小川)
- 5月18日 山梨県研修会講師 (藤谷)
- 5月20日 監査 (田代、齋藤)
- 5月23日 情文センター第1回評議員会 (高岡)
- 5月24日 民主党会派合同会議 (新谷)
- 5月25日 第2回 JD 総会 (高岡、新谷)
- 5月25日 JD 政策会議、(新谷)
- 5月27日 拡大本部会議 (高岡、川井)
- 5月28日 著作権委員会会議 (高岡)
- 5月31日 JDF 幹事会 (新谷)
- 5月31日 リハ協会第1回理事会 (高岡)
- 5月31日 全難聴便り No. 60 発行

📌 事務局報告

- 5月13日 第1回監査会
- 5月16日 四団体勉強会要員参加
- 5月19日 障定協総会出席
- 5月20日 第2回監査会
- 5月21日 理事会総会議案書発送
- 5月29日 「音から隔てられて」搬入
《予定》
- 6月1日 理事会
- 6月2日 総会
- 6月15日 青年部設立30周年パーティ
- 6月15日～16日
JAPAN 補聴器フォーラム
- 6月16日 第61回全国ろうあ者大会・山形
(代理出席照井)
- 6月22日～23日
第31回全国要約筆記問題研究集会
- 7月1日 全難聴便り No. 61 発行



※ (「音から隔てられて」全難聴一括購入分入荷 5/29)

青年部 HP リニューアル

話題のHP 作成ツールである
Wordpress を青年部が導入しました。
30周年記念行事のPR記事のほか、去
年末から今年1月までにかけて行った
全難聴加盟協会&各地域青年部実態調
査の報告書もアップしています。
是非、ごらんください。
(青年部ページ)

<http://www.zennancho.or.jp/wordpress/youth/>

福祉大会 in おきなわ情報(2014/1/26～27)

全体会 (講演会)

テーマ「権利ってなんだろう？」

講師：岡島 実弁護士

分科会

- ①就労について
- ②情報保障の目指すもの
- ③沖縄のおばあにまなぶ

観光はご参加の皆様の飛行機の時間などによ
り2つのコースをお選びいただけます。

- ①南部戦跡めぐり
- ②美ら海水族館

是非沖縄へおいでください。

by 勝連